

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ブロッサムジュニア長久手藤が丘教室		2026年 2月 1日				
	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		お子さまが隠れて遊んでけがをしないように、極力物を置かないレイアウトとしています。	フラットなビニールフローリングなので、お子さまが滑らないよう、靴下を脱ぐなど、徹底しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		行政からの認可要件を満たし、1名増員しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	入口から手洗いまでの導線に、文字+イラスト/パネルを採用し、外から帰ってきたら実施することを構造化しています。	ご利用人数が多い日に、個別活動を実施する教室に限りがあるため、相談室なども使い、個別活動が集中して出来る環境整備を実施します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		視覚的刺激を極力無くし、シンプルな構造としています。日々の掃除の徹底で埃やゴミは落ちておりません。	広い環境なので、温度調整に気を使っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		急なバニックなどのクールダウンに使用できるよう、相談室を設けています。横にもなれるよう、畳の部屋です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		管理者より定期的に短期方針を提示し、スタッフ個々の最近の気付きを共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		活動記録のコメントや、送迎時のお話、評価表などにより、保護者様からの意向についてのアンテナを張っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に1回の割合で、意見交換会を実施しています。支援内容や、お子さまの様子、施設内備品など、項目は多岐にわたります。	繁忙となる時期の実施時間確保が課題です。いかに事前に準備をするかで解消したいと考えています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	ブロッサムジュニアは、本部に担当SVがおります。教室で起きていることはアプリで共有しており、都度アドバイスを受けています。	相談支援員の方のモニタリングでの気付きなども取り込めるよう、こちらからのヒヤリング機会を設けています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		本部主催Web研修会に参加し、支援の質を上げる研修を実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HUGシステムを用いて、ご利用者様に公表。教室公式SNSにも掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		5領域を網羅するアセスメントを豊富な本部ノウハウを元に、保護者様のニーズをしっかりと聞き出した計画案を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画原案を元に、お子さま毎に意見交換を実施し、支援計画化し、お子さまの暮らしやすさを追及しています。	言葉が増えるや、宿題が出来る ということ以上に必要な力について、言語化したいと考えています。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		日々の活動プログラム案のすり合わせの場で、お子さま毎の注意点などについても議題にあげています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		お子さまの小さな変化や、ふと発した言葉など、細かな部分も共有することが多いです。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		保育所・小学校とも連携し、当教室での様子や課題について共有しています。その上で相談支援事業所へも適時アナウンスを実施しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		「歌」「楽器演奏」「ダンス」「レクリエーション」と4分割し、担当制にしています。改善点共有は、定例会議を設けています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		お子さまの活動がマンネリ化しないよう、入れ替えたり、何かをプラスしたりと、工夫をしています。	さらにお子さまに音楽が好きになってもらえるよう、常に改善が必要と感じています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別と集団のどちらも実施する支援体制を採用しています。	集団で見つけたお子さまに苦手な活動を繰り返し練習することで、コツコツやれば自信に繋がることをお伝えしたいです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		常に実施しています。	さらに効率よく、内容把握や、助け合いを実施するにはどうするかが課題です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		内容というよりは、お子さまの活動中の様子を中心に気付きを共有しています。	送迎でてしまふスタッフもいるので、翌朝にまたがっての共有の精度をあげることが課題です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		活動後必ずサービス提供記録を作成し、活動中の写真もお子さま毎に保護者様に公開しています。	現状もかなり丁寧な記録となっているが、さらに良くするにはどんな方法があるかは模索中です。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年を目途に計画の見直しを徹底しています。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供を意識した集団活動を実施しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		お子さまに関わる関係各部と、積極的に情報交換を実施しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		児童発達支援管理責任者を中心に参画しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		お子さまに関わる関係各部と、積極的に情報交換を実施しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		OPEN時、ほぼ全ての児童館へご挨拶にうかがいました。今後、地域の児童も参加可能な活動を設けていきたいと考えています。	
	保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	送迎時、保育園の先生とコミュニケーションを取らせていただいております。
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	個別支援計画や、お子さまへの声掛けの中で、共有を開始し、社会的自立に向けた支援を第一に運営しています。	
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	教室で有効であった対処法について、サービス提供記録で共有を行っています。	
35		運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		ご契約時に丁寧に実施しています。	
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画や、お子さまへの声掛けの中で、共有を開始し、社会的自立に向けた支援を第一に運営しています。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画の、説明日/同意日の日付記入、フルネームサインにより、同意をいただいている認識です。	全てHUG上での電子サインとなっており、苦手な保護者への説明の精度を懸命に上げています。
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時やHUGの連絡、個別にLINEなど、お気軽にお話しいただけるようにしております。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	2025年は学休日に3回、保護者様参観日を開催いたしました。	保護者参観日にご兄弟のご参加もお勧めしております。
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		ご利用者ニーズを優先し、曖昧では無く、確実にお約束出来る対応内容をお伝えしています。	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		日々の教室の様子は、リタリコ発達ナビのブログと、Instagramにて毎日発信中です。	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫に書類は保管しています。教室用PCを各スタッフに配布し個人情報は全てHUG内で管理しています。	写真は顔出しがNGなお子さまについてはきちんとした配慮の徹底をしています。成るだけ良い写真にすべく、奮闘しています。
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		なるべく短く、はっきりと、誤解や受取違いが発生しないような言い方や文章を意識しています。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	相談支援事業所の方々のモニタリングの機会を積極的にご案内しております。	平日のみの開所の為、夏祭りなど、実施する際のアナウンスが課題です。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		本部に存在するマニュアルを教室でも通用しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		訓練については本部指導により要件を確認し、ご利用者様を含めた活動としています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		見学会の際のアセスメントで必ずヒヤリングしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		見学会の際のアセスメントで必ずヒヤリングしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理がしやすいことを重点をおいた構造になっております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		非常連絡先について、契約時に提出していただくようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		本部主導の研修をスタッフが受講しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		本部主導の研修をスタッフが受講しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		やむを得ず行った場合も、保護者に伝達しています。おさまが何をされるとイヤかをおささま自身にしっかりと聞いています。		